

会場に集まって語り合いましょう オンライン配信はありません

第34回発達保障研究集会

全国障害者問題研究会

日時 2026年3月21日(土)13時~18時
22日(日)9時半~12時

会場 日本福祉大学
名古屋キャンパス(北館) 受付8階

名古屋市中区千代田5丁目22-35
・JR中央本線 鶴舞駅 名大病院口から徒歩1分
・地下鉄鶴舞線 鶴舞駅から徒歩5分



発達保障研究集会では過去2回の全体会(2024・2025年)において、新自由主義について、とりわけ政策の側面に焦点を当て、経済的な市場や競争の原理が、教育や福祉の現場のなかに、いかに根深く入り込んでいるかを明らかにしながら、新自由主義への対抗の足場がどこにあるのかを議論してきました。

これまでの議論をふまえて、今回の全体会では、障害者自立支援法以降、福祉現場における「職員の育ち」について考えます。障害者自立支援法は、利用契約制度への移行や応益負担の導入など、障害福祉に市場原理を持ち込むことで制度を根本から転換させ、障害者総合支援法以降、公的責任の縮小が進むなか、いくつもの悲惨な事件が象徴するように家族依存は限界を超えていました。福祉現場では複雑な報酬の仕組みによって実践が制約され、非正規職員が増加し、働き手の不足が深刻化しています。今回は、こうした厳しい状況下で職員が個人としても、集団としても実践者として育つことを支えている二つの社会福祉法人の実践に学びながら、新自由主義が猛威をふるう福祉現場にあって、障害のある人や家族のねがいを深く聴き取り、発達保障と権利保障の担い手として育ち合うための課題や条件を考えたいと思います。後半のライフステージごとの課題研究も、全体会の議論と緊密さを持った討論となるよう準備を進めています。多くの皆さんとともに、学び合い、語り合う研究集会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

(全障研研究推進委員長) 河合隆平

《1日目》

■全体会 3月21日(土) 13:00~14:30

障害者自立支援法から20年

～福祉現場の職員の育ちを考える～ 現場からの報告

①社会福祉法人みなと福祉会(愛知)

②社会福祉法人みぬま福祉会(埼玉) コーディーネーター 深谷弘和(天理大学)

いのちに関わるケアに応益負担を持ち込み障害が重いほど負担が大きくなる…障害者の尊厳を傷つける自立支援法違憲訴訟をたたかった私たち。基本合意をかちとてから20年。障害福祉労働者の現場から報告します。

■課題研究 3月21日(土) 15:00~18:00

3つの分科会を設けます =報告と討論=

◎課題研究Ⅰ 乳幼児期 子どもと保護者に合わせた母子保健システムを考える～つなぎに焦点をあてて～
情勢報告：乳幼児期への施策と児童発達支援センターの役割に関する議論 藤林清仁(同朋大学)
問題提起：母子保健システムと5歳児健診 近藤直子(あいち障害者センター)

名古屋市におけるつなぎ① 療育センターの役割や課題

名古屋市におけるつなぎ② 保健師の立場から

◎課題研究2 学齢期 「障害児教育に携わる教師の主体形成ーその今日的な困難と希望」

- ・企画趣旨説明、教師の主体形成をめぐる現状と課題
- ・実践現場より報告、座談会
- ・参加者との意見交流 など

◎課題研究3 青年・成人期 当事者の「ねがい」からおとなになるためのゆたかな暮らしを考える

- ・「障害のある人の暮らしと、家族の健康・暮らしの調査」報告
- ・地域で暮らす当事者たちの語り（岐阜・愛知）

《2日目》

■自由研究発表 22日(日) 9:30~12:00

つぎの4グループに分かれて自由研究発表・検討を行います。

申込の際に、参加を希望するいずれかのグループを記入してください。

第1会場

◎薗部英夫（東京支部）北欧・スウェーデンのインクルーシブ教育の実情と課題

◎宮本郷子（大阪支部）子どもの学びの充実と発達を保障するインクルーシブ教育

◎熊本勝重（大阪支部）子どもが学びの主人公になるということは—大阪の現状からインクルーシブ教育を考える

第2会場

◎塚田直也（神奈川支部）日々の教育で大切にしたいこと～自己信頼性を育む教育の意義と価値～

◎木全和巳（愛知支部）セクシュアリティの学び合いにおける「ふれあい」の意味と価値を再考する

◎河村あゆみ（岐阜支部）特別支援学級の包括的性教育の意義と課題

第3会場

◎橋本潔（愛知支部）・河口尚子（岐阜支部）・小森淳子（岐阜支部）障害のある女性の差別の交差性について

◎丸山啓史（京都支部）環境危機のなかでの研究運動のあり方

◎樋原裕二（大阪支部）江戸時代の障害者と「ひきこもり」について

第4会場

◎寺門宏倫（茨城支部）インクルーシブ教育について

◎小野洋子（愛知支部）乳幼児期の言葉の遅れに関する一考察—保育園を卒園したアオ男の事例をもとに

◎岡田徹也（滋賀支部）特別支援（養護）学校の条件整備をめぐる教師の語りの分析—1979～1991年を中心に—

■参加申込方法

事前申込をお願いします

資料代:会員3,000円/一般3,500円/学生・障害者1,000円

申込フォーム <https://form.run/@happoken34> ↓

- *宿泊が必要な人は各自、用意してください。
- *キャンセルの場合、ご連絡ください。



関連の会議（参考情報）

*全障研全国委員会 3月22日(日) 13:00~15:30(予定)

*研究推進委員会 3月22日(日) 12:30~13:00(予定)